



区民アンケート報告書



港区広報キャラクター
「みなびい」



みなと子育て応援キャラクター
「みなとん」

名古屋市港区役所

令和8年8月

調査の概要

1. 調査の目的

区民ニーズの把握と区政運営に反映させることを目的とする。

2. 調査の地域

名古屋市港区の全域

3. 調査の対象、数

区内居住の18歳以上の方 2,000人（外国人含む）

4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

5. 調査方法

通達員配布後 郵送回収法

6. 調査期間

令和8年6月16日（火）～ 7月17日（金）

7. 有効回収数

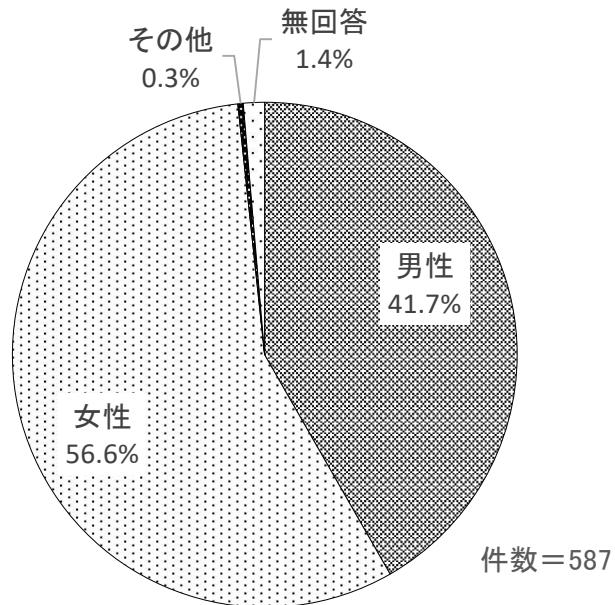
587人（29.4%）

調査の結果

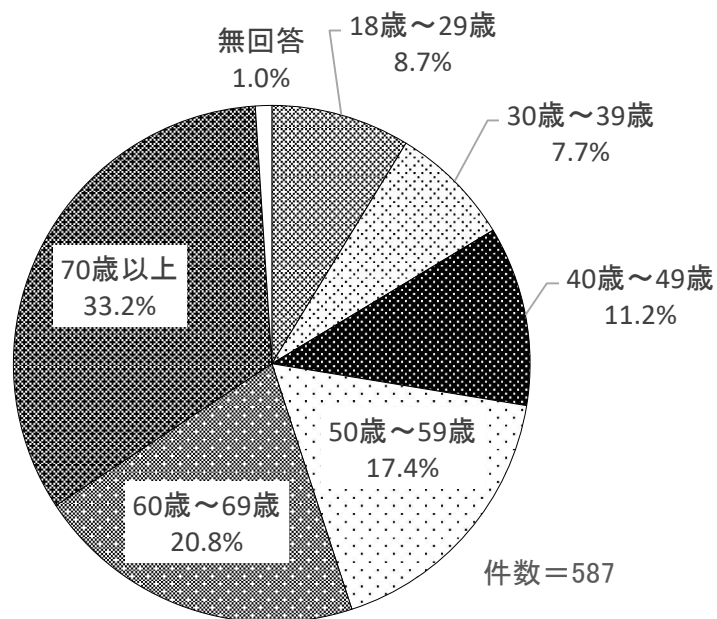
1 回答者の属性

質問1 はじめに、あなたご自身についてお聞かせください。
(該当する番号に○をつけてください)

■性別



■年齢



2. 区政運営方針について

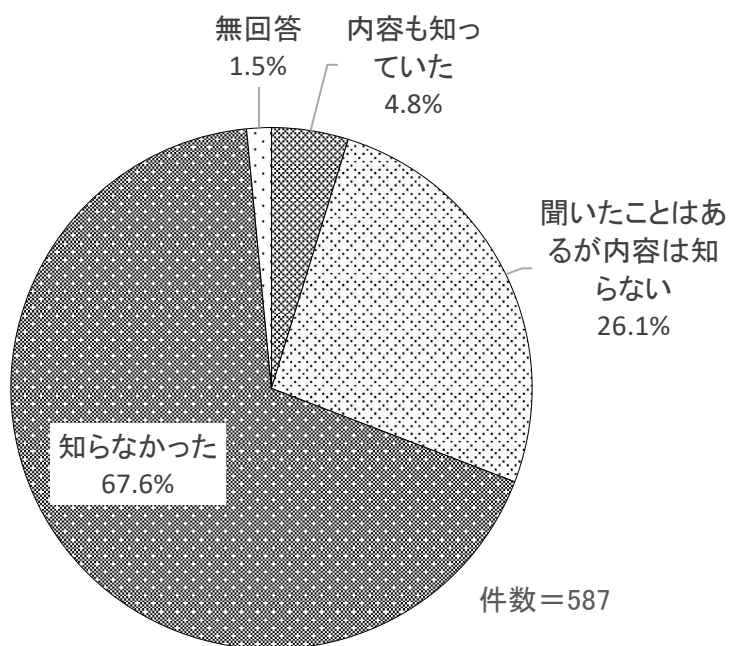
2-1 区政運営方針の認知

- 「港区区政運営方針」の認知については、「内容も知っていた」は4.8%であり、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が26.1%で、合わせて30.9%と3割以上が認知している。
- 一方、「知らなかった」は67.6%で7割弱となっている。

質問2 港区役所では、「港区将来ビジョン」において、目指すべき将来像として『「信頼」と「安心」を高め、暮らしやすいまちづくり』を掲げ、年度ごとの具体的な取り組みとして、「港区区政運営方針」を策定し、その実現に向けた取り組みを進めています。

「港区区政運営方針」について、次の設問にお答えください。

- ① 「港区区政運営方針」をご存知でしたか？

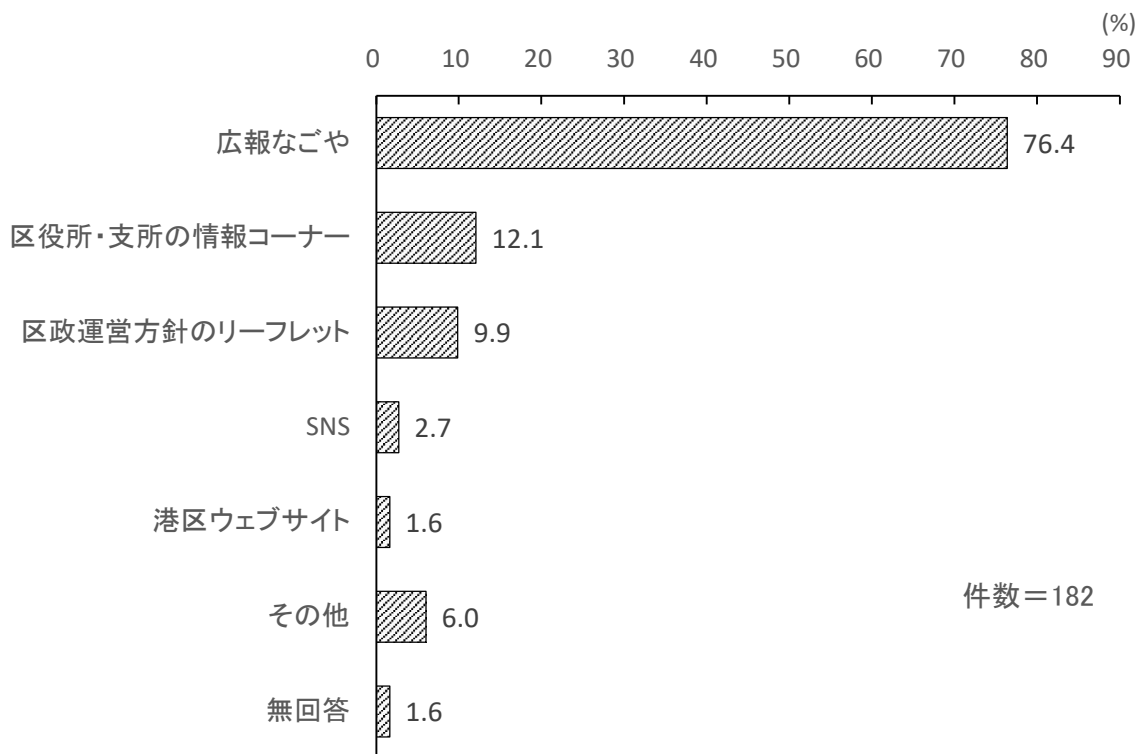


2-2 区政運営方針の認知経路

- 「港区区政運営方針」の認知経路としては、「広報なごや」が76.4%と圧倒的に高く、以下、「区役所・支所の情報コーナー」(12.1%)と「区政運営方針のリーフレット」(9.9%)は、それぞれ1割前後で、「SNS」(2.7%)と「港区ウェブサイト」(1.6%)は約2~3%となっている。

①で「1」又は「2」を選ばれた方におたずねします。

② どのような手段でお知りになりましたか？



3. 港区役所の行った取り組みに関して

令和7年度の「取組事項」と「主な実績」について

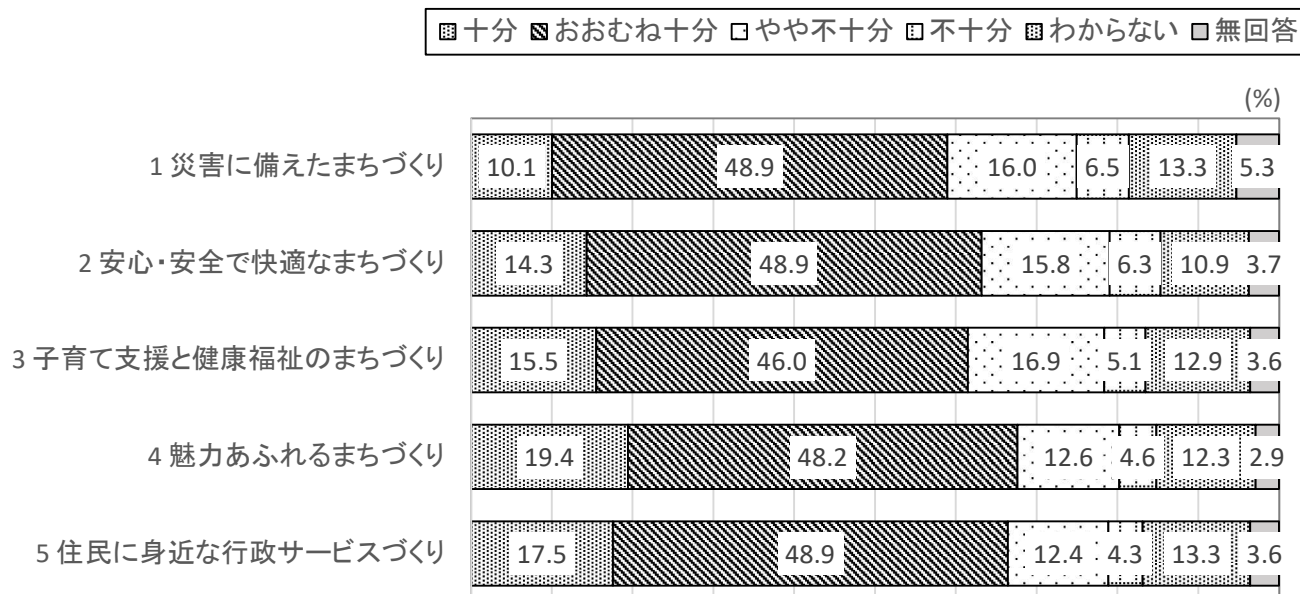
○ 「港区区政運営方針」に基づき行った、令和7年度の「取組事項」とその「主な実績」については、全項目とも「おおむね十分」の割合が46～49%と最も多くなっている。「十分」を合わせた割合は、「4 魅力あふれるまちづくり」(67.6%)と「5 住民に身近な行政サービスづくり」(66.4%)については7割弱、「2 安心・安全で快適なまちづくり」(63.2%)、「3 子育て支援と健康福祉のまちづくり」(61.5%)、「1 災害に備えたまちづくり」(59.0%)については6割前後と、全項目とも過半数が充足していると感じている。

一方、「やや不十分」と「不十分」を合わせた不足していると感じる割合は、「1 災害に備えたまちづくり」(22.5%)、「2 安心・安全で快適なまちづくり」(22.1%)、「3 子育て支援と健康福祉のまちづくり」(22.0%)については、それぞれ2割強が不足していると感じている。

質問3 港区役所では、「港区区政運営方針」に基づき、様々な取り組みを行いました。

各事業について、令和7年度「取組事項」とその「主な実績」をご覧ください、設問にお答えください。

(該当する番号を○で囲んでください)



3-1. 災害に備えたまちづくりの進捗評価

- 「災害に備えたまちづくり」についての取組事項と主な実績に対しては、「おおむね十分」（48.9%）がほぼ半数を占め、「十分」が10.1%で、合わせて59.0%と6割程が充足と感じている。一方、「不十分」が6.5%、「やや不十分」（16.0%）を合わせて22.5%と、2割強が不足と感じている。また、「わからない」が13.3%みられる。

1 災害に備えたまちづくり （令和7年度「取組事項」とその「主な実績」）

災害対応力の向上

災害対応力の向上 ・台風や地震、津波に備え、区内小学校・戸田川緑地での総合水防訓練（5月）をはじめとした防災訓練や研修等を実施し、発災時に迅速な対応ができるよう努めています。

地域課題に応じた主体的な防災活動の支援

地区防災カルテを活用した防災活動の推進

- ・全20学区で地区防災カルテ(※)を活用した防災活動に取り組めました。
- (※)「地区防災カルテ」…地形や災害リスクなどの地域特性や地域の防災活動状況など、地域防災に関する情報を学区毎に整理したデータベース

「無事ですカード」を活用した安否確認体制づくり

- ・「無事ですカード」を活用した安否確認体制づくりに取り組んだ学区の割合… 100%

避難所開設・運営訓練及び障害者への配慮の支援

- ・全20学区のうち15学区で避難所運営訓練に取り組めました。

災害時健康サポーターの養成及び育成

- ・災害発生時に避難所の衛生環境等に配慮する「災害時健康サポーター」を対象に、さらなる知識の向上を図るための『フォローアップ講座』を開催し、35名の方にご参加いただきました。

個別避難計画作成モデル事業の推進 ・介護や障害の程度が重く、災害リスクが高い地域にお住まいの避難行動要支援者を対象に、個別避難計画の作成支援を進めています。

〈モデル地区実施対象者における計画作成率…36.5%〉

自助力向上の促進と防災意識の啓発

自助力の向上の促進

- ・津波からの逃げ遅れゼロを目指し、港区版「わが家のマイ・タイムライン」の作成支援を行いました。また地震時に家具の下敷きにならないよう、消防署とも連携し、寝室の家具等の転倒防止対策を進めています。〈転倒防止対策を行っていた港区民の割合…62.6%（アンケート値）〉

防災意識の啓発 ・地域への出前講座等を実施し、災害リスクや日ごろの備えについて啓発しています。

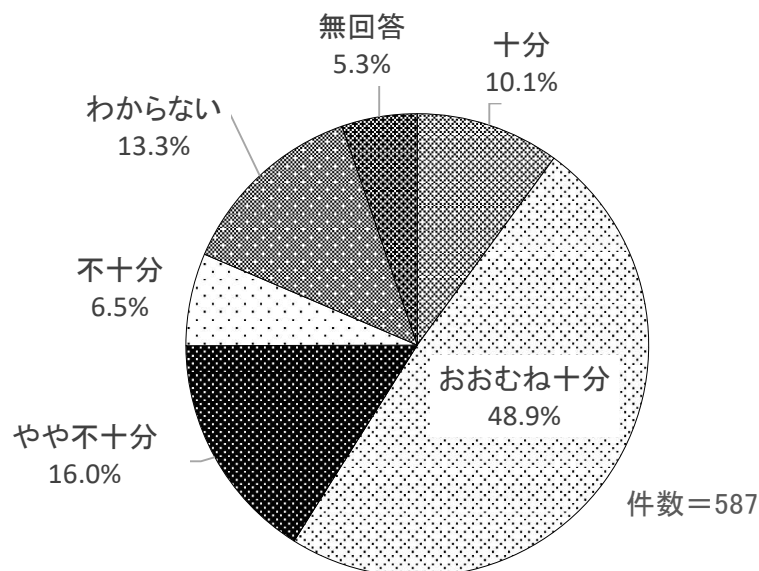
〈防災講話の参加者数…467名〉

港区防災のつどい ・過去の災害から学ぶ防災に関する講演会を開催しました。〈参加者数…295名〉

妊婦・乳幼児の親に対する防災教育の充実 ・リーフレットの配布や防災教室の実施などにより、おむつや粉ミルク等、乳幼児に必要な非常持出品を準備することの重要性をお知らせしています。

〈非常持出品の備え率…100%（アンケート値）〉

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を○で囲んでください）



3-2. 安心・安全で快適なまちづくりの進捗評価

○ 「安心・安全で快適なまちづくり」についての取組事項と主な実績に対しては、「おおむね十分」(48.9%) がほぼ半数を占め、「十分」が14.3%で、合わせて63.2%と6割強が充足と感じている。一方、「やや不十分」は15.8%、「不十分」は6.3%で、合わせて22.1%と2割強が不足と感じている。

2 安心・安全で快適なまちづくり (令和7年度「取組事項」とその「主な実績」)

犯罪のないまちづくり

犯罪のないまちづくり

- ・港区役所職員が『みなと「安・安」演劇部』として、「クレジットカード出せは全て詐欺」など、分かりやすいフレーズの寸劇を交えた防犯講話を上演しました。

〈防犯講話回数…16回(受講者数:1,800人)〉

- ・犯罪情勢に応じた啓発・広報の実施、防犯カメラや防犯灯LED化の支援等を行いました。

青少年の健全育成

- ・青少年育成運動や地域活動の充実を図るための啓発活動等を実施しました。

交通事故のないまちづくり

交通事故のないまちづくり

- ・全学区で交通安全キャンペーンを実施しました。また、若年層向けに交通安全教室を実施する等、交通安全意識の向上に取り組みました。

〈交通事故死傷者数…631人(前年比125人減少)〉

快適なまちづくり

町を美しくする運動

- ・地域の皆様とともに道路、公園などの清掃活動に取り組みました。〈空地清掃率…63%〉

管理が適切でない住居及び空家等の対策の推進

- ・管理が適切でない空家の所有者に対する助言・指導を行いました。

ペットと快適に暮らすまちづくり

- ・ペットの防災対策として防災教室を開催しました。
- ・のら猫対策の取り組みとしてTNR支援事業(※)を推進しています。

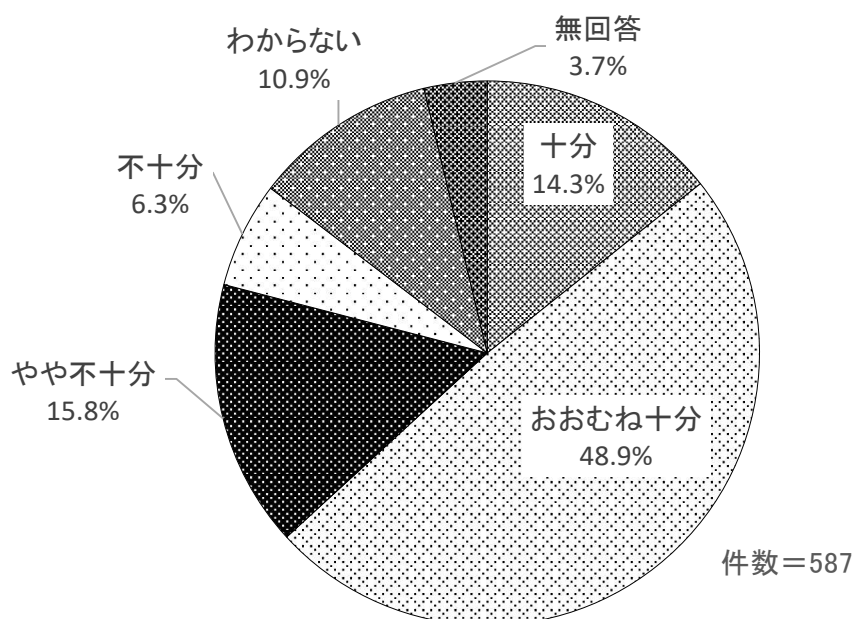
※ TNR活動は、のら猫を保護し避妊去勢手術を行った後、元の場所に戻す活動

藤前干潟生き物観察会

- ・藤前干潟で生物多様性等を学ぶ生き物観察会等を開催しました。

〈参加者アンケート結果「満足」「ほぼ満足」…96.6%〉

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？ (該当する番号を○で囲んでください)



3-3. 子育て支援と健康福祉のまちづくりの進捗評価

○ 「子育て支援と健康福祉のまちづくり」についての取組事項と主な実績に対しては、「おおむね十分」は46.0%と5項目のうち一番少ないものの、「十分」が15.5%で、合わせて61.5%と6割以上が充足と感じている。一方、「やや不十分」は16.9%と5項目のうち一番多く、「不十分」は5.1%で、合わせて22.0%と2割強が不足と感じている。

3 子育て支援と健康福祉のまちづくり（令和7年度「取組事項」とその「主な実績」）

妊娠期からの切れ目ない子育て支援

みなとHAPPY☆CHILDBIRTH（MHC）プロジェクト

・母子健康手帳交付時に全ての妊婦さんに対して面接を行い、安心して出産や育児ができるように情報提供を行いました。

赤ちゃん訪問

・生後4か月までの赤ちゃんのいるご家庭には保健師が、生後4か月から7か月までのご家庭には児童委員が訪問し、子育て支援を行いました。

学区子育てサロン等の開催 ・区内の子育て関係機関と協力し、「みなと子育てサロン」を開催しました。

子育て情報の発信 ・SNSやみなと子育て応援キャラクター「みなとん」を活用し、子育て情報を提供しています。

〈子育てのしやすいまちだと思う区民の割合…64.6%〉

乳幼児に対するむし歯予防の啓発 ・3か月児健康診査時に予防啓発しおりを配布し、啓発しました。〈啓発率…対象者の95%〉

子どもを虐待から守る地域社会づくり

児童虐待の防止 ・5月、11月の児童虐待防止推進月間を中心に啓発活動に取り組み、11月、2月に子育て応援講座を実施しました。〈児童虐待の相談窓口を知っている区民の割合…43.5%（アンケート値）〉

高齢者が安心して暮らし続けられる地域社会づくり

共生型サロン「陽まわり」の実施 ・世代・立場・障害を越えた交流の場である「陽まわり」を定期的に開催しました。〈週1回〉

地域の実情に寄り添った高齢者の見守り

・単身の高齢者や高齢者のみ世帯を訪問し、把握した福祉ニーズに応じた情報提供を行いました。

花づくりイベントの実施 ・障害者・高齢者・区民等で花づくり等に取り組み、交流を深めました。〈行事回数…9回〉

多世代交流による地域福祉活動の支援 ・高齢者の集う場に参加される方と若い世代の交流を図りました。〈実施か所数…10か所〉

地域包括ケアシステムの推進 ～地域包括ケア推進会議 地域課題検討ワーキンググループ～

・地域包括ケアシステム推進のためのワーキンググループを実施しました。〈実施回数…2回〉

地域包括ケアシステムの推進 ～港区認知症になっても安心して暮らせる町をつくり隊～

・認知症カフェの運営や認知症に関する情報誌の発行等を進めました。〈認知症になっても安心して暮らせる町をつくり隊 登録者数…56人〉

港区役所いきいき高齢者プロジェクト

・区内公共スペースの花壇等の整備により、高齢者の社会参加等を促進しました。〈参加者数…164人〉

高齢者の健康づくり

・高齢者の健康づくりに関する講座や介護予防に関する啓発物を配布しました。〈いきいき教室のアンケート満足度…100%〉

障害者が自立して安心して暮らせる地域社会づくり

障害者の相談支援の充実 ・個々の相談者に寄り添って相談を受け、支援を実施しました。

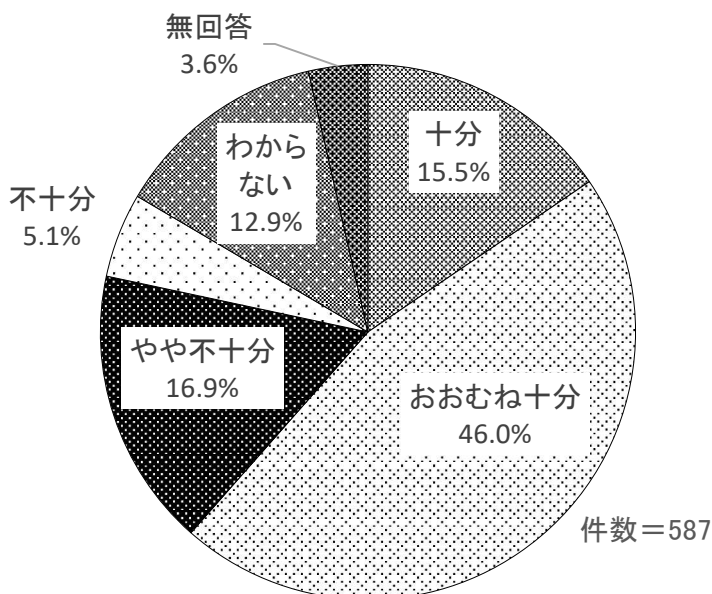
障害当事者参加型啓発活動「あなたと私の架け橋お届け便」の実施

・障害当事者と区民の交流の機会を企画・実施しました。〈開催回数…9回〉

授産製品の販売促進 ・区役所及び南陽支所庁舎内において授産製品の出店販売を行いました。〈事業所数…11事業所〉

ヘルプカードの周知と活用支援 ・広報なごや等でヘルプカードの周知を行うとともに、支援が必要な当事者にヘルプカードの配布・作成支援を行いました。〈ヘルプカード配布数…900枚〉

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を○で囲んでください）



3-4. 魅力あふれるまちづくりの進捗評価

- 「魅力あふれるまちづくり」についての取組事項と主な実績に対しては、「十分」が 19.4%、「おおむね十分」(48.2%) を合わせて 67.6%と、7 割弱が充足と感じている。一方、「やや不十分」は 12.6%、「不十分」(4.6%) を合わせて、不足と感じている割合は合わせて 17.2%と、区民の充足度が高い分野となっている。

4 魅力あふれるまちづくり (令和7年度「取組事項」とその「主な実績」)

魅力向上・魅力発信

港区の魅力発信事業

・港区広報キャラクター「みなびい」を活用しながら、SNS 等様々な方法により港区の魅力や区内のみどころについて発信しています。また港区のみどころを紹介した「みなびいマップ」を活かしてイベントを実施しました。

南陽の農業の魅力発信事業 ・ポスター掲示などにより、南陽の農業の魅力情報を発信しました。〈実施回数…55回〉

野菜マルシェの支援・地産地消推進事業

・南陽地区の農産物を広くPRし、地産地消の機運を醸成するイベント等の取り組みを年間7回開催しました。

ふれあいと交流の場づくり

港湾区民まつり ・11月にガーデンふ頭にて開催し、約2.5万人の方にご来場いただきました。

〈来場者アンケート「たいへん良かった」と「良かった」…98.3%〉

南陽地域ふれあいまつり ・10月に戸田川緑地で開催し、約2万人の方にご来場いただきました。

〈来場者アンケート「たいへん良かった」と「良かった」…97%〉

南陽さんぽ ・マップ「南陽さんぽ」を活用した南陽地域の魅力を発見するウォーキングイベントを開催しました。

〈参加者アンケート「たいへん良かった」・「良かった」…100%〉

スポーツ・文化活動の振興

各種スポーツ大会 ・各種大会や誰でも気軽に参加できるウォーキングイベントを開催しました。

区民美術展・短詩型文学展・子ども美術展

・区民の文化芸術活動の発表・鑑賞の場となる美術展等を開催しました。〈出場者及び来場者の合計…929人〉

華道展 ・文化芸術の発展を目的とした華道展を開催しました。〈来場者数…春150人・秋180人〉

みなとフェスタ ・区民の文化活動の発表の場である「みなとフェスタ」の開催を支援しました。

地域コミュニティの支援

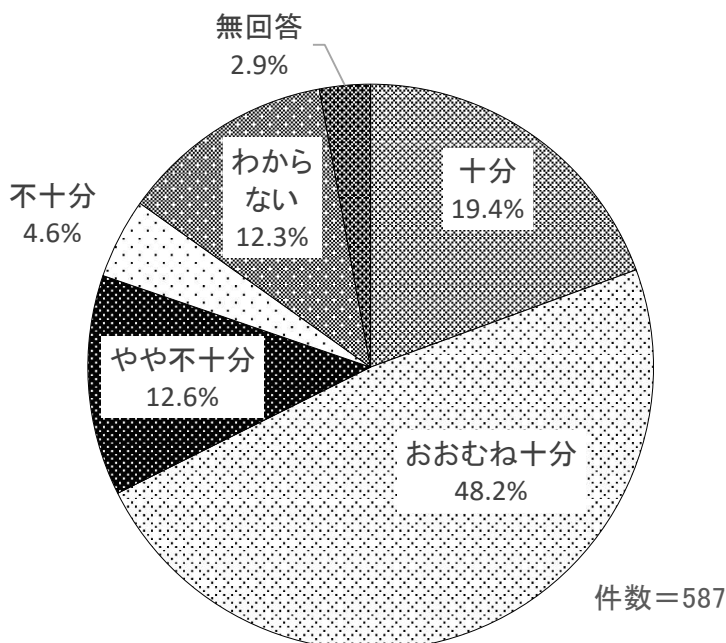
地域コミュニティの支援 ・「地域活動の担い手づくり」をテーマに、地域団体の役員等が参加し、各地域の課題と取り組みについて共有するとともに意見交換を行いました。

〈地域活動が活発だと感じている区民の割合…51.8% (アンケート値)〉

多文化共生の推進

多文化共生事業 ・外国人住民が地域コミュニティの一員となるため、みなと外国人コミュニティパートナーとの協力により外国人住民と地域のつながりづくりを支援しています。

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？ (該当する番号を○で囲んでください)



3-5. 住民に身近な行政サービスづくりの進捗評価

- 「住民に身近な行政サービスづくり」についての取組事項と主な実績に対しては、「おおむね十分」が48.9%とほぼ半数を占め、「十分」が17.5%で、合わせて66.4%と7割弱が充足と感じている。一方、「やや不十分」は12.4%、「不十分」は4.3%と、ともに5項目のうち一番小さく、不足と感じている割合は16.7%であり、区民の充足度が高い分野となっている。

5 住民に身近な行政サービスづくり （令和7年度「取組事項」とその「主な実績」）

区民サービスの改善・拡充

職員研修の実施

- ・窓口対応職員の接遇調査とフィードバック研修を実施し、職員の接遇能力向上を図りました。

わかりやすい区役所窓口づくり

- ・所属の看板へのふりがな表記の追加や、区役所正面玄関にデジタルサイネージを設置し、イベントや会議の開催場所等をアナウンスすることにより、来庁者の方が迷わないよう案内しています。

窓口案内職員の配置

- ・フロアサービスによる窓口や申請書類・制度の案内のほか、区役所と南陽支所におくやみコーナーを設置し、亡くなられた後の区役所での手続き等の案内を行いました。

〈案内件数 91, 818件〉

広報の充実

- ・広報なごや港区版や、港区ウェブサイトコンテンツ、各種SNSの運営による広報の充実により、必要な情報を適切なタイミングで提供しました。

身近で魅力あふれる支所づくり

- ・南陽支所ロビーでの作品展示会等を開催しました。〈展示会開催回数…6回〉

外国人に対する窓口サービスの充実

外国人に対する窓口対応サービスの充実

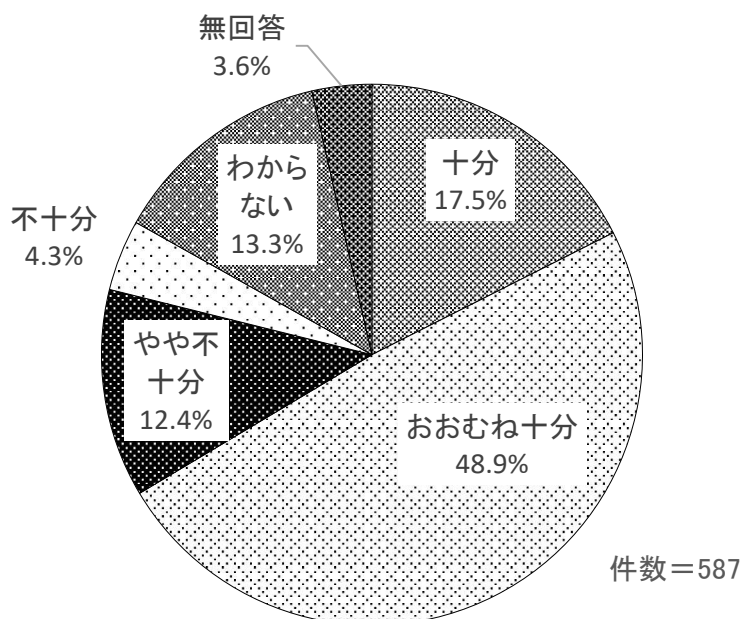
- ・ポルトガル語、フィリピン語通訳職員の配置〈対応件数…2, 028件〉
- ・区役所におけるテレビ電話通訳の実施〈対応件数…27件〉
- ・家庭訪問時等に外部で利用可能なタブレット端末による通訳の実施〈対応件数…109件〉
- ・AI通訳機による多言語窓口対応〈対応件数…120件〉

総合行政の推進

地域課題解決に向けた連携強化

- ・警察署・消防署・土木事務所・環境事業所等、区内の官公所が参加する会議等を定期的に行い、連携を強化することで、地域課題の解決に取り組んでいます。

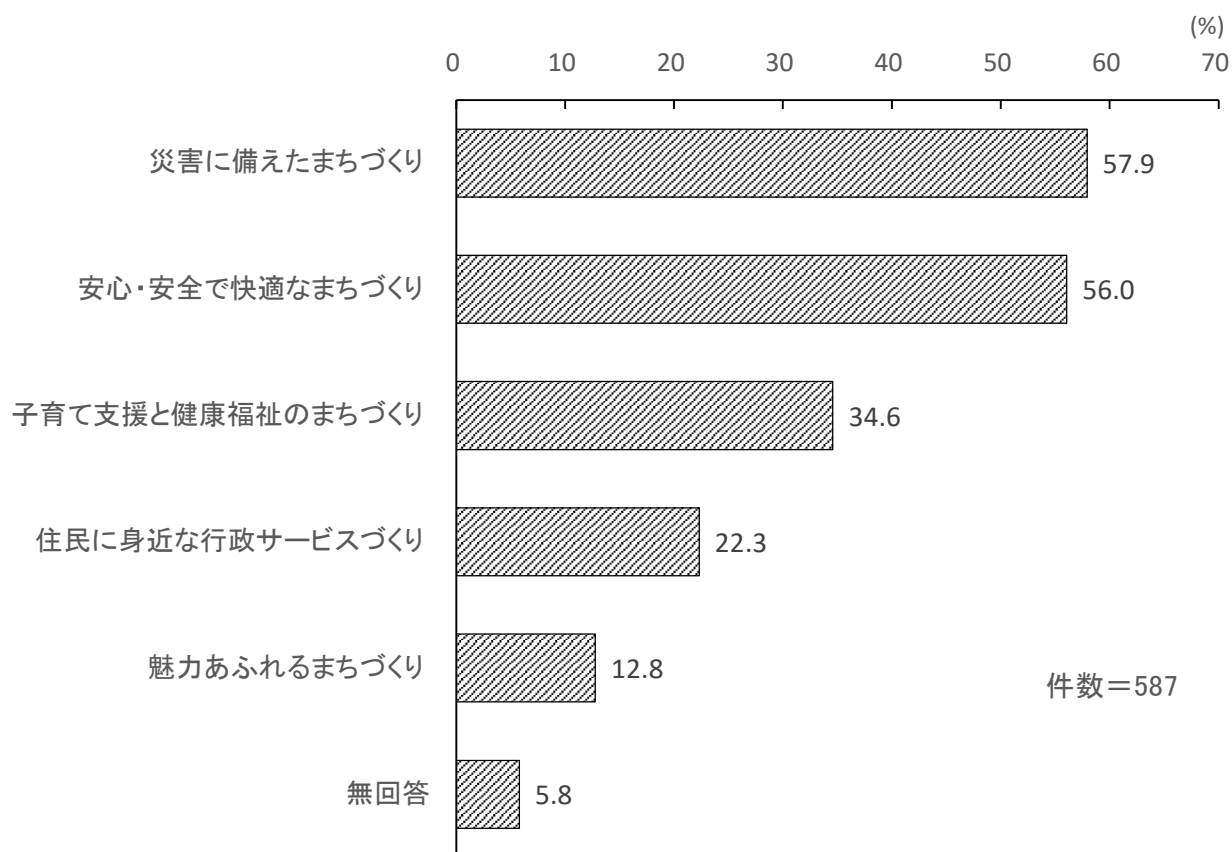
この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を○で囲んでください）



4. 今後重点的に取り組んで欲しい分野

○ 今後、港区で重点的に取り組んで欲しい分野としては、「災害に備えたまちづくり」の割合が57.9%と最も多く、次いで「安心・安全で快適なまちづくり」(56.0%)で、それぞれ6割弱があげている。以下、「子育て支援と健康福祉のまちづくり」は34.6%と3割強、「住民に身近な行政サービスづくり」(22.3%)は2割強、「魅力あふれるまちづくり」(12.8%)は1割強と続いている。

質問4 今後、港区で重点的に取り組んで欲しいと思う分野を、2つ選んでください。
(該当する番号を○で囲んでください)

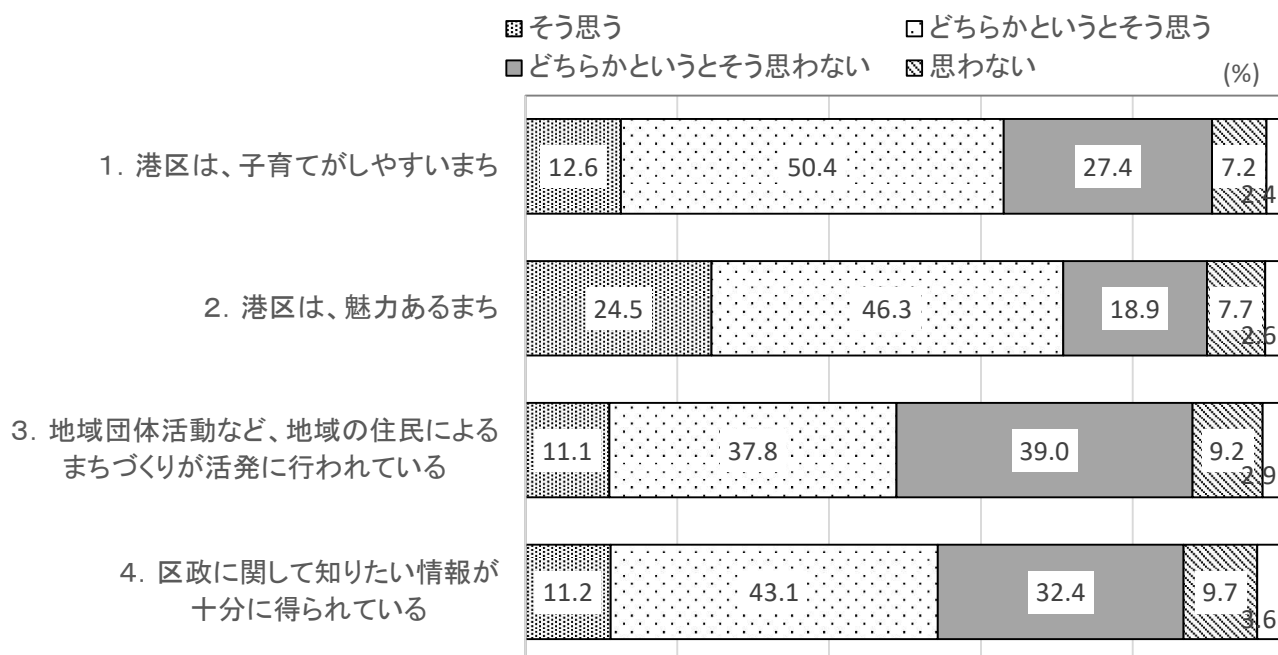


5. 港区の現状について

○ 港区が「よりよいまち」を目指す上での、港区の現状についての評価としては、「2 魅力あるまち」については、「そう思う」の割合は24.6%、「どちらかというと思う」を合わせた肯定的評価の割合は70.8%と、7割強が肯定的に感じている。肯定的評価の割合は、「1 子育てがしやすいまち」については63.1%と6割強、「4 区政に関して知りたい情報が十分に得られている」については54.3%と過半数を占めている。一方、「3 地域団体活動など、地域の住民によるまちづくりが活発に行われている」については48.8%と、肯定的評価の割合と否定的評価の割合（48.3%）は、ほぼ同じ割合となっている。

質問5 港区が「よりよいまち」を目指す上で、港区の現状にどのように感じているか「4」段階でお答えください。

（直接関わりのない事柄についても、日々の生活の中での実感などから、各項目について率直にお答えください。）

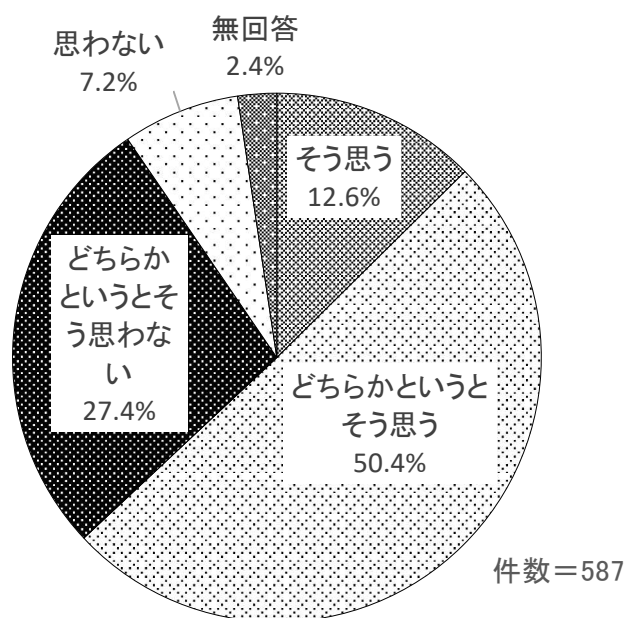


5-1. 子育てがしやすいまち

○ 港区は、子育てがしやすいまちについて、現状どのように感じているかとしては、「どちらかというと思う」が50.4%と半数以上を占め、「そう思う」(12.6%)を合わせて63.0%と6割強が肯定的に感じている。

一方、「どちらかというと思わない」(27.4%)、「思わない」(7.2%)を合わせた34.6%が否定的に感じている。

1. 港区は、子育てがしやすいまちだと思いますか。

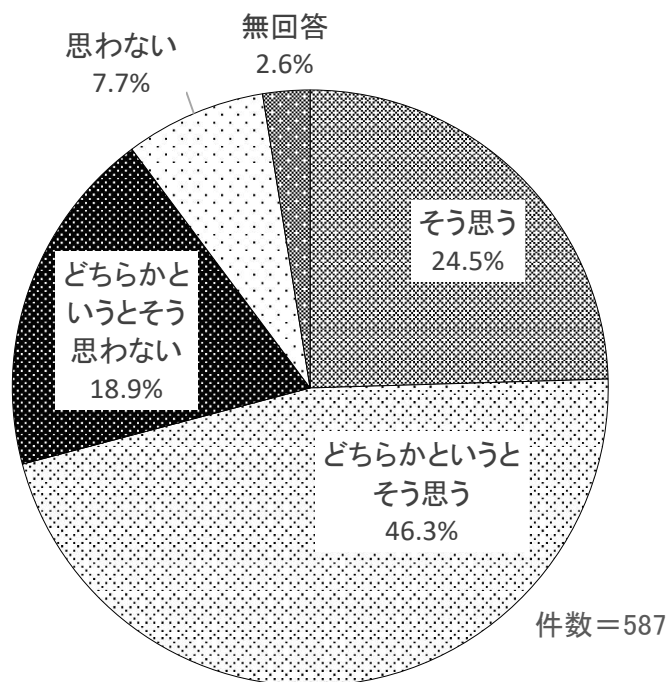


5-2. 魅力あるまち

○ 港区は、魅力あるまちについて、現状どのように感じているかとしては、「そう思う」が24.5%、「どちらかというと思う」(46.3%)を合わせた70.8%と、7割強が肯定的に感じている。一方、「どちらかというと思わない」は18.9%、「思わない」(7.7%)を合わせた26.6%は、それぞれ4項目のうち一番低くなっており、区民の評価は良好となっている。

2. 港区は、魅力あるまちだと思いますか。

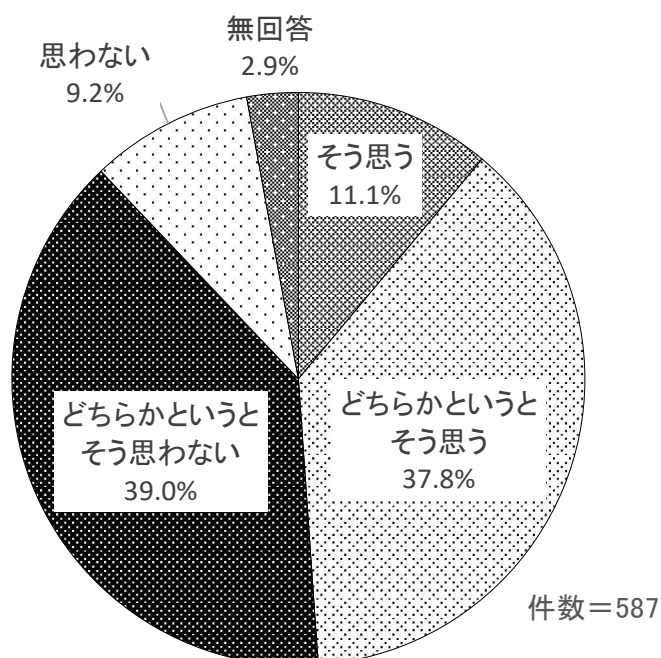
港区は、総取扱貨物量日本一を誇る名古屋港をはじめ、名古屋港水族館、リニア・鉄道館、レゴランド®などの魅力的な施設のほか、戸田川緑地や藤前干潟、南陽地域の水田地帯での田んぼアートなど、様々な顔を持っています。また、2023年には「ARUHI presents 本当に住みやすい街大賞 2023 in 愛知」1位に東海通が選ばれました。



5－3．地域の住民によるまちづくりが活発に行われている

○ 地域団体活動など、地域の住民によるまちづくりが活発に行われているかについて、現状どのように感じているかとしては、「どちらかというと思わない」が39.0%と最も多く、「思わない」(9.2%)を合わせた48.2%が否定的に感じている。一方、「そう思う」(11.1%)と「どちらかというと思う」(37.8%)を合わせて48.9%と、ほぼ半数が肯定的に感じており、区民の評価は半々となっている。

3. 地域団体活動など、地域の住民によるまちづくりが活発に行われていると思いますか。

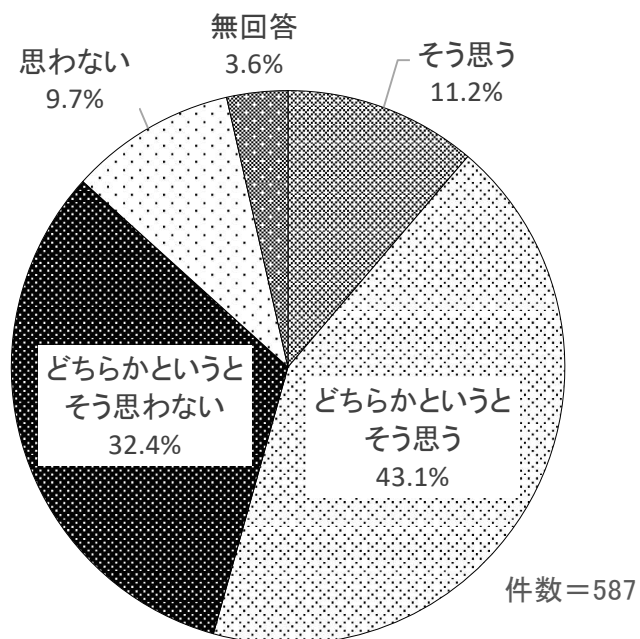


5－4．区政に関して知りたい情報が十分に得られている

○ 区政に関して知りたい情報が十分に得られているかについて、現状どのように感じているかとしては、「どちらかというと思う」が 43.1%と最も高く、「そう思う」(11.2%)を合わせて 54.3%と 5 割強が肯定的に感じている。一方、「思わない」は 9.7%で 4 項目のうち一番多く、「どちらかというと思わない」(32.4%)を合わせて 42.1%と 4 割強が否定的に感じている。

4．区政に関して知りたい情報が十分に得られていると思いますか。

広報なごや港区版や港区役所ウェブサイト、港区役所公式Instagram等で、港区の行政情報を発信しています。



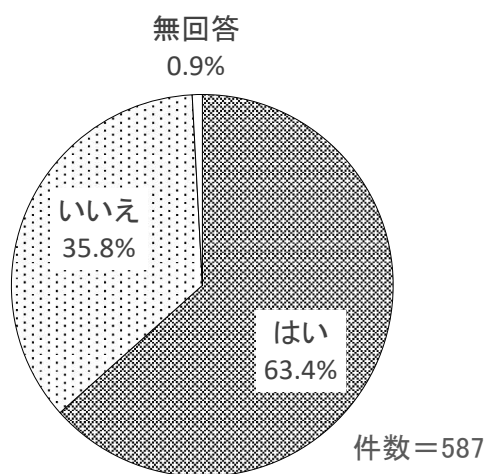
6. あなた自身の取り組みや認知度などについて

6-1. 家具等の転倒防止対策

- 寝室の家具等（家具のほか、テレビなど電化製品を含む）の転倒防止対策を行っているかについては、「はい」の割合は63.4%と6割強を占め、「いいえ」の割合は35.8%となっている。

質問6 あなた自身の取り組みや現状、または、それぞれの施策の認知度などについて、次の質問にお答えください。

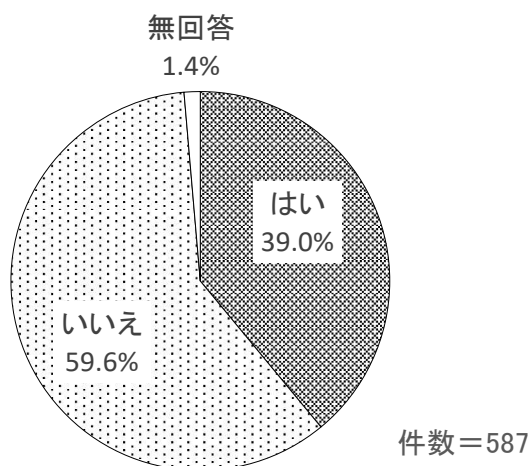
1. 寝室の家具等（家具のほか、テレビなど電化製品を含む）の転倒防止対策を行っていますか。



6-2. 「TNR活動」の認知

- TNR活動の認知については、「はい」の割合は39.0%と4割程であり、「いいえ」の割合が59.6%と6割を占めている。

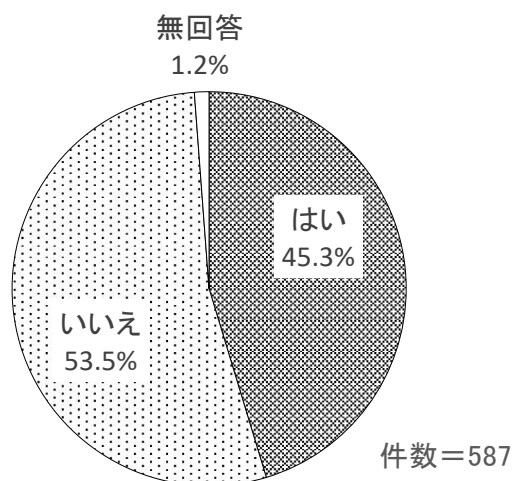
2. 「TNR活動（※）」を知っていますか。 ※ のら猫を捕まえて（Trap）、避妊去勢手術（Neuter）をし、元の場所に戻す（Return）活動。のら猫の減少が期待できます。



6－3．児童虐待の相談窓口の認知

- 児童虐待の相談窓口の認知としては、「はい」の割合は45.3%と5割弱であり、「いいえ」の割合が53.5%と過半数を占めている。

3．児童虐待の相談窓口を知っていますか。



6－4．地域で相談できる人の有無

- 65歳以上の方の、隣近所や地域において、困ったときに相談できる人がいるかについては、「はい」の割合は61.3%と6割以上を占めており、「いいえ」の割合は37.6%となっている。

※65歳以上の方にお聞きします。

4．隣近所や地域において、困ったときに相談できる人がいますか。

